

各位

上場会社名 日本ラッド
 代表者 代表取締役社長 大塚 隆一
 (コード番号 4736)
 問合せ先責任者 常務取締役 管理本部長 別所 利通
 (TEL 03-5919-3001)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,150	63	57	26	6.49
今回発表予想(B)	1,876	△36	△34	△14	△3.72
増減額(B-A)	△274	△99	△91	△40	――
増減率(%)	△12.7	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	2,082	16	10	△149	△37.38

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,580	227	210	115	28.73
今回発表予想(B)	4,040	43	5	△22	△5.60
増減額(B-A)	△540	△184	△205	△137	――
増減率(%)	△11.8	△81.1	△97.6	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	4,152	104	94	△90	△22.54

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,750	45	48	20	4.99
今回発表予想(B)	1,603	△4	0	12	3.16
増減額(B-A)	△147	△49	△48	△8	――
増減率(%)	△8.4	――	△100.0	△40.0	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	1,716	△36	△33	△197	△49.25

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,900	188	188	101	25.23
今回発表予想(B)	3,300	16	2	△22	△5.69
増減額(B-A)	△600	△172	△186	△123	――
増減率(%)	△15.4	△91.5	△98.9	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	3,444	37	42	△174	△43.72

修正の理由

1.第2四半期累計期間

(1)個別

ア)売上高

ソフトウェア開発事業につきましては、首都圏のエンベデット系受託開発および通信、リース向けビジネスシステムの受託開発の売上が伸びましたが、首都圏以外のシステム開発案件減少等の影響などにより、地方でのソフトウェア受託開発が期初予算を下回り、15億86百万円の予算に対し、14億81百万円の実績(達成率93.4%)となりました。

また、プロダクト販売事業につきましては、企業及び自治体の設備投資抑制の影響等から、当社及び販売協力パートナーの営業活動

が計画通り進捗せず、期初に見込んでいたデマンド交通システムおよび映像ソリューションの売上が伸長しなかったことなどにより、1億64百万円の予算に対して1億21百万円(達成率73.8%)の実績となったことから、計画を下回る見込みとなりました。

イ) 営業利益、経常利益

販売管理費等の費用についてはほぼ予算どおりの進捗でありましたが、プロダクツ販売事業の売上高総利益実績が予算に対し75百万円減少となったことなどから、営業利益、経常利益ともに計画を下回る見込みとなりました。

ウ) 純利益

投資有価証券売却益34百万円の特別利益がありましたが、販売権評価損32百万円の特別損失があったため、経常利益減の影響により計画を下回る見込みとなりました。

(2) 連結

ア) 売上高

個別売上高の状況に加えて、日本ラッド情報サービス株式会社のインターネットデータセンター事業、人材派遣事業が堅調に推移したものの、モバイルリンク株式会社における車輻運行管理システム事業の納期が導入環境が整わなかった事により第3四半期以降に延びたことなどのマイナス要因により、個別のプロダクツ販売事業と子会社業績を含む「プロダクツ販売その他事業」の売上高が、5億64百万円の予算に対し3億76百万円の実績(達成率66.7%)となった事などから、計画を下回る見込みとなりました。

イ) 営業利益、経常利益

1. 第2四半期累計期間(1)個別 イ)と同様の理由により、計画を下回る見込みとなりました。

ウ) 純利益

1. 第2四半期累計期間(1)個別 ウ)と同様の理由により、計画を下回る見込みとなりました。

2. 通期

(1) 個別

(ア) 売上高

ソフトウェア開発事業については、期初予算の売上高32億61百万円に対して、売上高31億円を見込んでおり、今後も受注案件獲得を継続いたします。

プロダクツ販売事業の売上高につきましては、下半期も自治体等の投資意欲抑制は継続する見込みであり、販売協力パートナーの営業活動についても過度な期待は望めない状況であることから、現時点での売上高は2億円を見込んでおり、今後の営業活動による積み上げを考慮しても、期初予算の売上高6億39百万円を大幅に下回る見込みとなりました。

(イ) 営業利益、経常利益

主に売上高総利益の減少により、営業利益、経常利益ともに計画を下回る見込みとなりました。

(ウ) 純利益

当期純利益につきましては、経常利益減の影響に加え、平成20年10月27日付第10回無担保社債発行のお知らせにて開示いたしました、社債発行にかかる費用及び利息費用22百万円等を考慮した結果、計画を下回る見込みとなりました。

(2) 連結

(ア) 売上高

子会社につきましては、日本ラッド情報サービス株式会社のインターネットデータセンター事業は堅調に推移する見込みであり、モバイルリンク株式会社についても第2四半期の売上がずれ込んだ事による第3四半期以降の売上増などを見込んでおりますが、個別のプロダクツ販売事業の売上減少見込みの影響から、「プロダクツ販売その他事業」の売上高は、期初予算の12億46百万円に対して、9億40百万円を見込んでいることなどから、計画を下回る見込みとなりました。

(イ) 営業利益、経常利益

2. 通期 (1)個別 イ)と同様の理由により、計画を下回る見込みとなりました。

(ウ) 純利益

2. 通期 (1)個別 ウ)と同様の理由により、計画を下回る見込みとなりました。

※なお、通期連結業績予想数値につきましては、平成20年11月4日付「当社連結子会社による事業の譲受けに関するお知らせ」で開示いたしました、ユニコテクノス株式会社からの事業譲受けを加味しておりません。当該事業譲受けにかかる平成21年3月期通期連結業績への影響につきましては、現在精査中につき、今後内容が確定次第速やかに開示いたします。

以上